

野鳥・ヒト・技術が繋がる 「野鳥被害対策コーディネート」づくり

ひろげる助成

2年目

知識の提供・普及啓発

被害把握調査の関与先 **3地域**

講演会参加者の満足度 **85%**

今年度計画の達成度 **85%**

目標達成度 **80%**



鳥害対策技術指導会の様子

活動内容と成果

- 3市町村にて鳥害の被害実態を把握するための調査(現地調査・アンケート調査)を実施し、適切な被害把握と評価方法について検討した
- 南魚沼市八色地区にて対策の実証試験を実施し、農作物被害対策について啓発を行った。調査と普及啓発の結果、当該地域では、「鳥類よりも獣類の方が被害が多い」という実態が判明したことで、既存の鳥害の被害金額が過大評価されている可能性が高いことが判明した

課題

新潟県の農作物被害は鳥類による被害が66%を占めている。ところが鳥害に対する対策が確立されておらず、今後も鳥害が相対的に重要なシェアを占めることが予測される。

目標

被害把握、対策のコーディネート、普及啓発を行い、多様な鳥や現場に対応できる「総合的な鳥害対策」と、それを実現させるための技術や人材などの「仕組み」を確立する。



勿ラズは捕食されたスイカ

苦勞した点と工夫した点

■ 苦勞した点

活動の結果、獣類による被害が「鳥による被害」だと誤って認識されており、単なる技術論では対策が進まなかった。

■ 工夫した点

技術よりも被害者の意識に焦点を向け、鳥害の許容可否を当事者が判断できるような情報を集めることに注力した。

| 活動地域 |  新潟県

〒940-0864
新潟県長岡市川崎4-253-51
電話：070-4106-4883
E-mail：info@wironkemono.com
http://wironkemono.com



今後の
展望

本活動が取り組む課題を解決するためには、鳥による被害量を正しく認識することが重要である。今後は、被害者との合意形成に必要な「真の被害実態」の把握方法の確立に注力したい。

